

【環境】1) サンドラムを建設する場合は、下流域で営まれている漁業の資源への影響を懸念する意見が出ており、地域で営んでいる漁業共同組合に十分に説明、協議しながら、取り組みを進める必要がある。

天塩川には豊かな自然が残されているとともに周辺地域と一体となった天塩川らしい河川景観を形成しており、このため、天塩川の河川整備は、水系一貫の視点を持ち、北海道や関係市町村等の施策と連携を図りつつ、地域で営んでいる農業団体、漁業団体等関係機関と連携・調整を行うなど地域の重要な産業である漁業や農業に十分配慮した上で、市街地の発展や農地の利用状況等を踏まえて、豊かな生活環境と災害に強い安全・安心な地域社会の実現を目指すとともに、産業振興など流域の広域的な発展に寄与するよう総合的、効果的に推進します。

特に地域にとって重要な漁業資源であるヤマトシジミの生息環境については、関係機関等が連携して天塩川本川、サロベツ川、パンケ沼など汽水域の良好な河川環境の保全や整備に取り組むとともに、かつてシジミが生息していた旧川の活用に向けた調査検討など、その保全や整備に向けた取り組み（図-1 参照）を積極的に進めます。

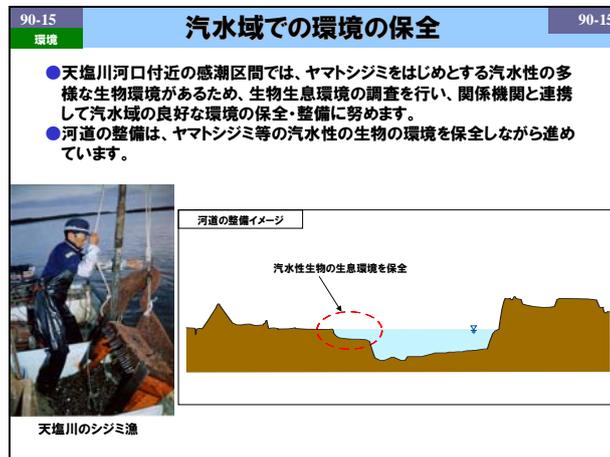


図-1